

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 4 月 23 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

前回から**変化日の出し方**についてご説明しています。今回は“一目均衡表の雲がクロスする所、または大差なく接近する所が変化日”であるとご説明しました。(4月16日号のレポート参照)

変化日の出し方にはまだ何通りかあるのですが、今日ご説明するのは基本数値と呼ばれるものについてです。

これから申し上げる数字が株の上げ下げに密接なつながりを持っています。

9・17・26・33・42・65これが**基本数値**です。より正確に申しますと9・17・26が基本数値、33・42・65は**複合数値**と呼ばれています。すなわち、17に17を足して1を引けば**33**。なぜ1を引くのかというと、例えば、17日上げて17日下げた場合、日柄を数える時は安値から高値、その高値から次の安値と、高値の所を二度数えることとなります。重複するので1を引くわけです。

同様に、17に26を足して1を引けば**42**。33に33を足して1を引けば**65**。

このように、複合という言葉通り二つを合計したものであるわけです。

9・17・26・33・42・65この数字をまず覚えて下さい...

今回は、これらの基本数値が株の上げ下げにどのようなつながりを持つのかをご説明します。

(無料テレフォンサービス)やさしいチャート教室 03-3669-5552)



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。